

2018年7月20日

No. 18-196

株式会社 伊予銀行

「TSUBASA FinTech共通基盤」によるAPIの提供およびフィンテックサービスとの連携を開始！

～共通ID一つで、様々なフィンテックサービスとお客さまの口座情報を安全に連携～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、「TSUBASA FinTech共通基盤」によるAPI^{※1}の提供およびフィンテックサービスとの連携を開始いたしますので、下記のとおりお知らせします。

「TSUBASA FinTech共通基盤」は、「TSUBASAアライアンス」^{※2}参加行とT&Iイノベーションセンター株式会社（代表取締役 森本 昌雄）が共同で構築した、フィンテック企業等の外部事業者の皆さまが同一の仕様で接続できるオープンAPIのプラットフォームです。

事前に登録いただく「いよぎんID」^{※3}によりお客さまの認証を行うことで、インターネットバンキング契約のない方でも口座情報を各種サービスと安全に連携することができ、様々なフィンテックサービスをご利用いただけるようになります。

記

○サービス開始日

2018年7月23日（月）

○ご利用いただけるフィンテックサービス（第一弾）

- ・自動貯金アプリ「finbee（フィンビー）」

提供元：株式会社ネストエッグ（代表取締役社長 田村 栄仁）

- ・自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」

- ・ビジネス向けクラウドサービス「MFクラウドシリーズ」

提供元：株式会社マネーフォワード（代表取締役社長CEO 辻 庸介）

○ご利用イメージ



（※1）APIとは、Application Programming Interfaceの略です。お客さまの同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組みで、その仕様等をフィンテック企業等の外部事業者に公開することを「オープンAPI」といいます。

（※2）当行、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行の7行が参加する地銀広域連携の枠組みです。

（※3）インターネットで提供されるサービスを、共通のIDでご利用いただくための仕組みです。

以上

<自動貯金アプリ「finbee（フィンビー）」>

「finbee（フィンビー）」は、おつりや歩数などのルールに連動して楽しみながら貯蓄ができるアプリです。お客さまがアプリ上で目標とルールを設定すると、API接続により当行にお客さまのfinbee専用口座（目的別預金）をオンラインで開設し、普通預金口座から自動で振り替えることができます。



<自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」>

「マネーフォワード」は、銀行口座やクレジットカードを連携すると、家計簿の自動作成や複数口座をまとめた資産管理ができるサービスです。API接続することにより、当行口座情報を安全かつシームレスに「マネーフォワード」へ連携することができます。

